

2010年6月11日

名古屋市長 河村たかし殿

名古屋市民オンブズマン

代表 倉橋 克実

名古屋市中区丸の内3-6-4 1 リブビル6階

TEL 052-953-8052 FAX 052-953-8050

本件担当：柴田孝介

TEL:052-735-5671

黒塗車廃止提言への回答要求書

私たちは昨年11月、市長あてに市役所の黒塗車廃止を提言しました。

市長はそのときに、こちらでも調べて回答しますと約束されましたが、残念ながら未だにご回答いただいております。お約束を果たされるようあらためてお願いします。

じつは本年3月にも市長室宛その後の進行状況を問い合わせましたところ、4月19日付けで添付のように廃止の提言には応じられないむねの回答をいただきました。ただし、この回答は市長の意志は確認しておらず、市長室としての回答であるとのことでありました。

報道によれば市長は専用車を軽自動車に換えたことをもって、これで市民並みになったとお喜びと伝えられました。

ところがその一方で、市長室には市長車以外に10両の黒塗車があります。そこで私たちはその現況を知るため本年4月の運行状況を調査しました。その結果の抜粋は添付しますが、昨年6月の状況に比べて台数こそ11台に減少しているものの、基本的な使用状況に改善の様子は見られません。

私たちの提言は黒塗車の廃止であり、運行の合理化あるいは自粛ではありません。

民間では多数の運転者付き黒塗車を所有している企業などほとんどありません。

黒塗車に関する限り、名古屋市の現状は市長の民間並み乃至は民間以下という意向と全くかけ離れていると言わざるを得ないのです。

たとえば、ある副市長は「金城」から専用車で登下庁されていますが、歩いても20分、地下鉄を一区間利用すればさらに短時間で登庁出来るこの距離に送迎車を使われています。この意識はとても市民の公僕のもととは思われません。

また、黒塗車の行き先に「三の丸」がたびたび見受けられます。三の丸とは市庁舎の所在地ではありませんか、どのような用件が三の丸行きに黒塗車を必要とするのでしょうか。その他、副市長車3両の運行は極めて非効率です。送迎以外の走行は1日1.5回に過ぎないのです。

専用車以外の7両の運行状況も、1日1.8回出走し24km走行というサラリーマンの通勤使用にも及ばない状況です(表2-2)。そして来客等(議員を含む)外部者の利用は17.5%に過ぎず、利用しているのはほとんど内部者なのです(表3)。

このような例に見られるように市の黒塗車使用意識は納税者として容認出来るものではありません。

市長が報酬を半減したり軽自動車への乗り換えでアピールしても、足下の秘書課員が黒塗車に乗っているのは茶番劇になってしまいます。

これはまさに「まず隗より始めよ」の典型的な事例です。市長の「民間並み意識」を実証出来る、しかもスグ出来る絶好の機会であり、これが市職員の意識改革の突破口になることを期待しています。

あらためて市長専用車を除く黒塗車を全廃されるよう提言し、市長のご回答をお願いします。

念のために申し添えますが、市長室等による見え透いた代理回答はなさいませんように、市長ご本人直々の(出来れば名古屋弁による)ご回答をお願いします。

恐縮ですが、ご回答は6月中にお願いします。

添付書類： 名古屋市市長室が管理する黒塗車の運行抜粋
平成22年4月19日付け市長室秘書課からの回答書写し

名古屋市市長室が管理する黒塗り車の運行抜粋

表1. 市長副市長専用車の運行

1-1. 2009年5・6月の運行

使用者	5・6月の 出庫回数	5・6月の 走行距離	1日当たり 出庫回数	1日当たり 運転時間	1日当たり 走行距離
河村市長専用車	115回	2158km	2.78回	5時間25分	54.5km
山田副市長専用車	118回	1003km	2.52回	4時間24分	21.0km
住田副市長専用車	54回	797km	1.34回	2時間57分	20.0km

1-2. 2010年4月の運行

使用者	10年4月の 出庫回数	10年4月の 走行距離	1日当たり 出庫回数	1日当たり 運転時間	1日当たり 走行距離
河村市長専用車	58回	774km	2.23回	4時間30分	29.8km
山田副市長専用車	52回	785km	2.08回	4時間00分	31.4km
住田副市長専用車	53回	836km	2.41回	4時間36分	38.0km
大西副市長	62回	1207km	2.38回	4時間12分	46.4km

表2. 専用車以外の黒塗り車の運行

2-1. 2009年6月 稼働黒塗り車9台 出勤日数23日間

	9台月間合計	9台で1日	1台で月間	1台では1日で
出庫回数	138回	6回出庫	15回出庫	0.5回出庫
運転時間	312時間05分	14時間運転	35時間	2時間運転
走行距離	4293km	187km走行	478km走行	21km走行

2-2. 2010年4月 稼働黒塗り車7台 出勤日数21日間

	7台月間合計	7台で1日	1台で月間	1台では1日で
出庫回数	124回	11回出庫	32回出庫	1.8回出庫
運転時間	481時間20分	23時運転	69時間	3.9時間運転
走行距離	5213km	248km走行	745km走行	24km走行

表3. 役職別使用者数と比率

	2010年		2009年				比率
	4月	比率	4月	5月	6月	3ヶ月計	
議員委員	59	25.3	51	43	41	135	21.8
局長	57	24.5	48	20	31	99	16.0
部長室長	46	19.7	49	28	17	94	15.2
一般職員	43	18.5	33	36	41	110	17.8
課長主幹	18	7.7	39	24	21	84	13.6
来客	6	2.6	6	15	14	35	5.7
理事参事	4	1.7	23	16	22	61	9.9
合計	233	100.0	249	182	187	618	100.0

平成 22 年 4 月 19 日

名古屋市民オンブズマン

柴田孝介 様

黒塗り車廃止の提言について

見出しの件につきましては、これまでもいわゆる黒塗り公用車の削減や一元管理の推進による効率的な運営に努めてまいりました。

貴殿が調査を始められた平成 13 年以降では、名古屋市役所に配置されておりました黒塗り公用車は平成 14 年度で 25 台、運転士は 26 人でありましたが、平成 21 年度では黒塗り公用車は 14 台(市会事務局所管 2 台を含む)、運転士は 13 人に削減しほぼ半減させております。

昨年度は 1 台の削減を行うとともに、黒塗り公用車から環境にやさしい公用車への転換を進め、ハイブリッド車 3 台を導入いたしました。

今年度におきましても、ハイブリッド車や排気量の小さい車への転換を進めてまいります。

今後につきましては、順次環境にやさしい公用車への転換を進めていきますが、運転職員の雇用確保も必要であることから、そういった調整をしながら適切な対応を進めてまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

名古屋市役所市長室秘書課

担当 奥 山

TEL 972-3053

FAX 972-4105